

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 1 部門第 2 区分
【発行日】令和 4 年 8 月 18 日(2022.8.18)

【公開番号】特開 2021-45242(P2021-45242A)
【公開日】令和 3 年 3 月 25 日(2021.3.25)
【年通号数】公開・登録公報 2021-015
【出願番号】特願 2019-168064(P2019-168064)
【国際特許分類】

A 6 1 F 9/008(2006.01)

10

【F I】

A 6 1 F 9/008 1 2 0 A

A 6 1 F 9/008 1 0 0

【手続補正書】

【提出日】令和 4 年 8 月 9 日(2022.8.9)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

20

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

患者眼の組織に治療レーザ光を照射するレーザ治療装置であって、
治療レーザ光を出射する治療レーザ光源と、
治療レーザ光を走査し、患者眼の組織上で治療レーザ光が照射される位置を切り替える
走査部と、

制御部と、

を備え、

前記制御部は、

30

治療レーザ光を照射する複数のスポットの配列パターン、および、前記配列パターンに
含まれる前記複数のスポットの各々に対する治療レーザ光の照射順を設定するパターン設
定ステップと、

前記パターン設定ステップにおいて設定された、前記配列パターンに含まれる前記複数
のスポットの各々に対する治療レーザ光の照射順を、治療レーザ光の照射前にユーザに呈
示する照射順呈示ステップと、

を実行することを特徴とするレーザ治療装置。

【請求項 2】

請求項 1 に記載のレーザ治療装置であって、

治療レーザ光が照射される位置を示すエイミング光を出射するエイミング光源をさらに
備え、

40

前記走査部は、治療レーザ光およびエイミング光を走査し、患者眼の組織上で治療レー
ザ光およびエイミング光が照射される位置を切り替えると共に、

前記制御部は、

少なくとも前記走査部の駆動を制御することで、設定された前記配列パターンに含まれ
る前記複数のスポットの各々にエイミング光を順次照射するエイミング光照射ステップを
実行し、

前記エイミング光照射ステップにおいて、エイミング光を用いて前記照射順呈示ステッ
プを実行することを特徴とするレーザ治療装置。

【請求項 3】

50

請求項 2 に記載のレーザ治療装置であって、

前記制御部は、前記エイミング光照射ステップにおいて、

前記配列パターンに含まれる前記複数のスポットのうち、1 つまたは複数の第 1 スポットと、前記第 1 スポット以外の第 2 スポットとの間で、エイミング光の照射方法または照射の有無を異ならせると共に、

エイミング光の照射中に、前記複数のスポット中の前記第 1 スポットを、設定されている前記照射順に従って順次切り替えることを特徴とするレーザ治療装置。

【請求項 4】

請求項 3 に記載のレーザ治療装置であって、

エイミング光が照射される小スポットが、前記第 1 スポットの領域内に X 個、前記第 2 スポットの領域内に Y 個 ($Y > X$) 設定されており、

前記制御部は、前記エイミング光照射ステップにおいて、前記第 1 スポットおよび前記第 2 スポットの各々の領域内の複数の前記小スポットに、エイミング光を繰り返し照射すると共に、

前記第 1 スポットを、設定されている照射順に従って順次切り替えることを特徴とするレーザ治療装置。

【請求項 5】

患者眼の組織に治療レーザ光を照射するレーザ治療装置によって実行されるレーザ治療制御プログラムであって、

前記レーザ治療装置は、

治療レーザ光を出射する治療レーザ光源と、

治療レーザ光を走査し、患者眼の組織上で治療レーザ光が照射される位置を切り替える走査部と、

制御部と、

を備え、

前記レーザ治療制御プログラムが前記制御部によって実行されることで、

治療レーザ光を照射する複数のスポットの配列パターン、および、前記配列パターンに含まれる前記複数のスポットの各々に対する治療レーザ光の照射順を設定するパターン設定ステップと、

前記パターン設定ステップにおいて設定された、前記配列パターンに含まれる前記複数のスポットの各々に対する治療レーザ光の照射順を、治療レーザ光の照射前にユーザに呈示する照射順呈示ステップと、

を前記レーザ治療装置に実行させることを特徴とするレーザ治療制御プログラム。